

歯科衛生士国試対策集

2022年対応 第1～30回全重要問題解説集

歯科衛生士国試対策研究会 編

類似問題を効率的に学べるように「主問題」と「関連問題」に分け、問題ごとにテーマがわかるように配慮した。長年の分析と類書にはない緻密な編集・構成による最新版！

歯科衛生士 国試対策集

2022年対応

第1～30回全重要問題解説集

歯科衛生士国試対策研究会 編



- ◆ 「歯科衛生士国家試験出題基準」に準拠
- ◆ 「第30回歯科衛生士国家試験」解答・解説は巻末に一括掲載
- ◆ 「解剖・予防処置・保健指導・診療補助」関係の資料も充実

QUINTESSENCE PUBLISHING
クインテッセンス出版株式会社

B5判・432頁

定価：本体 3,700円（税別）

CONTENTS

1. 人体の構造と機能
 2. 歯・口腔の構造と機能
 3. 疾病の成り立ち及び回復過程の促進
 4. 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
 5. 歯科衛生士概論
 6. 臨床歯科医学
 7. 歯科予防処置論
 8. 歯科保健指導論
 9. 歯科診療補助論
- 第30回歯科衛生士国家試験問題
 - 口腔機能評価法
 - 巻末付表／写真集

本書の特徴

- 第1回以降、過去に出題された問題のうち重要なものを厳選して、「出題基準」の項目に沿って掲載した(2021年3月実施分は全問を巻末に一括掲載)。
- 各項目で主となる問題（主問題）と、それに関連した問題（関連問題）の順に並べ、直前対策にも対応できるように配慮した。
- 「問題」→「解説」→「解答」の順に記述を行い、まず自身で問題を解いて、正解の根拠となる解説で理解を深め、最後に解答へと進める構成とした。
- 巻末に付表（解剖／予防処置／保健指導／診療補助関係）と「口腔機能評価法」を掲載。

1 人体の構造と機能

人体の構造

問題 1. ('08)

骨口蓋の写真(巻末解剖 No.1)を別に示す。
矢印が示すのはどれか。

- a 切歯孔
- b 正円孔
- c 大口蓋孔
- d オトガイ孔

【解説】

矢印が示す孔は大口蓋孔で、上顎骨と口蓋骨が作る孔である。

- a 切歯孔は骨口蓋の正中線上の前端に存在する切歯窩に開口する切歯管の開口部であり、鼻口蓋神経、鼻口蓋動・静脈が通る。
- b 正円孔は蝶形骨に存在する孔で内頭蓋底から観察できる。この孔を三叉神経の第2枝の上顎神経が通る。
- c 大口蓋孔は骨口蓋の後外側隅に存在する孔である。この孔は上顎骨と口蓋骨によって作られ、ここを上顎神経、大口蓋動・静脈が通る。
- d オトガイ孔は下顎骨の下顎体外面で下顎第一・二小臼歯根尖相当部に存在する。この孔をオトガイ神経、オトガイ動・静脈が通る。

【解答】 c

問題 2. ('12)

下顎骨内側面の写真(巻末解剖 No.2)を別に示す。
矢印が示すのはどれか。

- a 頬筋稜
- b 下顎管
- c 翼突筋粗面
- d 顎舌骨筋神経溝

【解説】

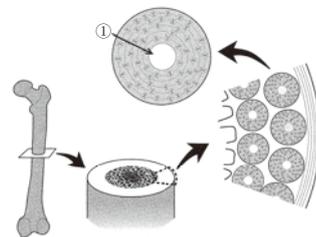
- a 頬筋稜は下顎骨(下顎体)の臼歯部歯槽の外側から後上方(下顎枝に向かう)へ斜めに走っている稜で、頬筋の付着部である。
- b 下顎管は下顎骨内(下顎体の歯槽の下)に存在し、下顎孔からオトガイ孔で顔面に開く管である。この管内を下歯槽神経および同名の動・静脈が通る。
- c 翼突筋粗面は下顎枝内側面の下顎角に接する部に存在する。内側翼突筋の付着部である。

- d 顎舌骨筋神経溝は、下顎体内面の顎舌骨筋線の下に平行して下顎孔に達する溝であり、顎舌骨筋神経が通る。

【解答】 d

問題 3. ('19)

骨単位の模式図を示す。



①で示すのはどれか。

- a 骨小腔
- b 骨小管
- c ハバース管
- d フォルクマン管

【解説】

図は長骨で緻密骨の骨単位(オステオン)である。ハバース層板の中央に位置する管はハバース管である。

▶ポイント ハバース管は緻密質に存在し、骨の長軸と平行(短軸に直行)に走行し、フォルクマン管は海綿質から骨膜に、骨の長軸に直行(短軸に平行)して走行する管である。

【解答】 c

問題 4. ('08)

内頭蓋底の写真(巻末解剖 No.3)を別に示す。
矢印が示す孔を通過するのはどれか。

- a 眼神経
- b 上顎神経
- c 下顎神経
- d 顔面神経

【解説】

- a 眼神経は、三叉神経節から出て蝶形骨の上眼窩裂を通り眼窩内に現われる。
- b 上顎神経は、三叉神経節から出て蝶形骨の正円孔を通り翼口蓋窩に現われる。
- c 下顎神経は、三叉神経節から出て蝶形骨の卵円孔を通り